

危険業務従事者叙勲

危険性の高い業務に長年尽力した人に対する叙勲が発表され、市内からは3人が荣誉に輝かれました。受章おめでとうございます

瑞宝双光章



高橋 健さん(73)
山目字立沢

警察功労
元県警部

花巻市大迫町出身。昭和32年岩手県警察官となり、岩泉警察署に勤務。盛岡警察署を経て遠野警察署、花巻警察署、一関警察署で警務管理係長を務められました。特に、昭和46年の全日空機石衝突事故では、昼夜を分かたず事故現場への交通確保に尽くされるなど、26年間にわたり交通部門で活躍されました。「上司の皆さんに助けられ勤めることができました」と語られました。

瑞宝双光章



千泥善嗣さん(72)
関が丘

警察功労
元県警視正

大東町曾慶出身。昭和34年警視庁警察官となり、淀橋警察署に勤務。昭和42年岩手県警に異動。交通機動隊長、遠野警察署長、本部交通部参事官兼運転免許課長、釜石警察署長を歴任。特に交通企画部門に精通し交通安全対策に尽くされ、退職後も交通安全協会で活躍されました。「先輩、同僚に恵まれ勤めることができました。特に19年間単身赴任したので、家族に感謝しています」と語られました。

瑞宝双光章



川端 力さん(71)
赤荻字荻野

警察功労
元青森県警視

青森県出身。昭和32年青森県警察官となり、長く暴力団犯罪捜査に従事。本部捜査二課暴力特捜係長、暴力団対策課係長などを経て、釜ヶ沢署刑事生活安全課長を務め、社会秩序の確保に尽力されました。ついすみかは一関とのことで、受章は「暴力団対立抗争拳銃発砲事案や連合賭博摘発事案など緊迫した現場も度々あったが、無事勤めたので、ご褒美と思っています」と語られました。



関係者が見守る中、通行が再開された国道342号矢櫃地区。地震で崩落したのり面の災害復旧工事が完成し、通行可能に。



国道342号
矢櫃地区

1年4カ月ぶりに 通行止め解除

昨年の岩手・宮城内陸地震発生以来通行止めとなっていた国道342号の厳美町矢櫃地区は11月12日、1年4カ月ぶりに通行止めが解除されました。同日午前10時、県南広域振興局一関総合支局土木部の職員が通行止め解除を宣言。ゲートが

撤去されると、解除を待ちわびた一般車両などが通行を開始していました。震災前、生活道路として使っていた男性は、「迂回路を利用してきたが、冬場は大変だった。災害復旧工事が終了し通行できるようになり安心して」と話していました。

秋の叙勲

平成21年秋の叙勲が発表され、長年それぞれの分野で、その進展に尽くされた功績により、市内からは4人が荣誉に輝かれました。

受章おめでとうございます

瑞宝双光章



高橋清人さん(80)
大東町摺沢

学校保健功労
学校薬剤師

大東町摺沢出身。岩手医大薬局勤務を経て、昭和30年摺沢に高橋薬局を開業。同36年から旧天狗田小学校など大東町内の小・中・高校の学校薬剤師を務め、専門的立場から指導・助言を行い、学校保健事業の円滑な実施に努力されています。「児童生徒のため、環境測定や理科実験用の劇薬物管理指導などが主な仕事。健康なので続けることができました。若い人は多くいるが勤務薬剤師で両方できる人がいないので、もう少し頑張りたい」と語られました。

瑞宝単光章



加賀美力男さん(82)
川崎町薄衣

消防功労
元川崎村消防団副団長

川崎町薄衣出身。昭和23年、薄衣村消防団員となり、同60年3月川崎村消防団副団長で退団するまで37年間にわたり地域防災活動に尽くされました。特に水害常襲地にあつて、豪雨にうたれ、濁流の中で人命救助や家財の流失防止などにあたられました。「水害の時、電話交換所が浸水しないよう、徹夜をしながら2日ばかりで土のうを積んだのが、一番大変だった。家族の理解と協力がありました。こと。本当にありがたかった」と語られました。

旭日双光章



宇部貞宏さん(72)
字沢

建設業振興功労
県建設業協会副会長

九戸郡野田村出身。高校卒業後、一関市内の建設会社に勤務。昭和52年独立し建設会社を設立。商号変更し宇部建設代表取締役就任。平成11年から県建設業協会一関支部長。同18年から同協会副会長の振興、地域経済の発展に尽くされています。「岩手・宮城内陸地震での応急復旧対応は土木屋冥利。各社の協力を感謝している。今後とも精進し、建設産業の発展に尽力したい」と語られました。

瑞宝単光章



小野寺博人さん(80)
字台町

鉄道業務功労
元国鉄職員

一関市新大町出身。昭和22年、一ノ関車掌区車掌を振り出しに北上車掌区助役、陸中門崎駅長、盛岡車掌区新幹線担当助役、陸中山田駅長など歴任。同60年4月盛岡で退職するまで、通算38年間の大半を旅客営業部門で活躍されました。「盛岡の時は、大船渡高校の甲子園出場で、大阪直行の臨時列車を仕立てて応援に駆けつけた。350人で大いに盛り上がりうれしかった。皆さんのおかげさまで38年間勤めることができた」と語られました。

国土交通大臣表彰

小野寺正記さん(68)は室根町折壁は、タクシー事業振興により国土交通大臣表彰を受賞。11月13日、市役所を訪れ、勝部市長に報告しました。「地域の皆さんに助けられての受賞。これに恥じないよう一杯頑張りたい」と語りました。勝部市長は「地域のため一生懸命努力されてきた結果。おめでとうございます」と祝福しました。

小野寺さんは昭和41年、2台のタクシーで会社を立ち上げ、これまで43年間無事故を続けています。同60年から、旧室根村営バス(現在は一関市営室根バスの運搬業務を受託。これまで1日も休まず同町折壁と同町津谷川の宮城県境の間29.4kmで1日5往復半の運行を続けています。



受賞を報告した小野寺さん(中央)